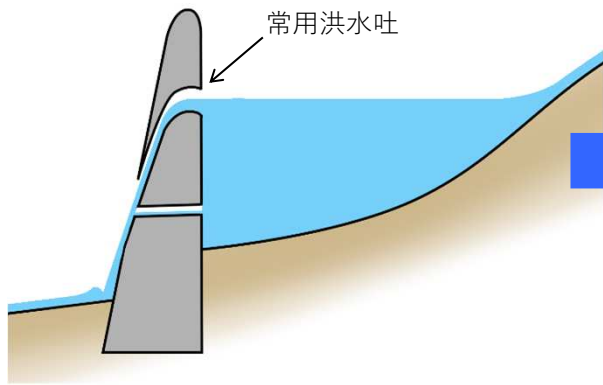


# 県営ダムの事前放流についてのお知らせ

近年の水害の激甚化を踏まえ、県では既存ダムの洪水調節機能の強化を図り、洪水被害の防止・軽減に取り組むこととなりました。佐久建設事務所管内では湯川ダム・余地ダム・古谷ダムで今年の出水期から運用を開始します。

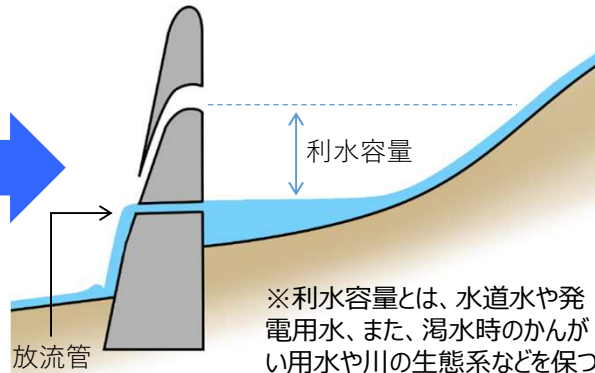
## 通常の状態

ダムにたまった水は「常用洪水吐」という穴から下流に流れ出ます。



## 大雨が予想される時

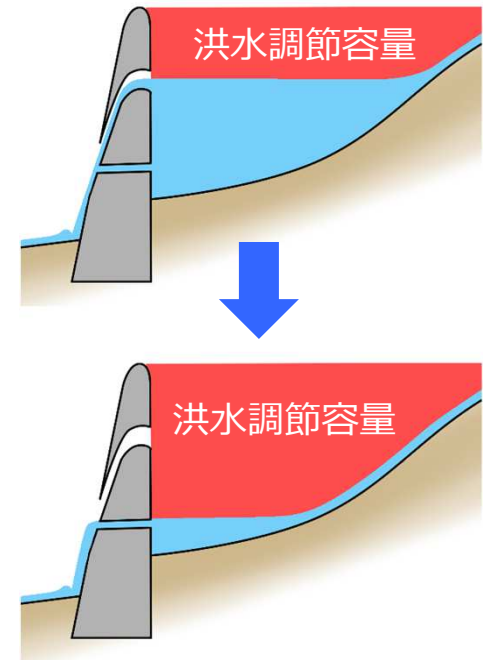
事前にダムの水を放流します。放流時間は長くて3日程度です。放流するのは利水容量※の水です。



※利水容量とは、水道水や発電用水、また、渇水時のかんがい用水や川の生態系などを保つためにダムに貯えている水です。

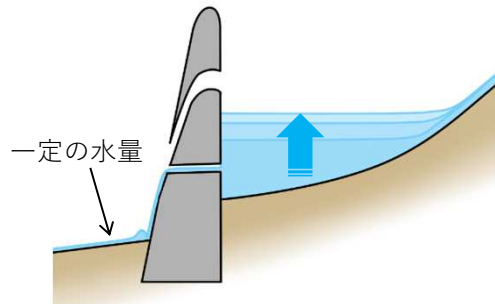
## 効果

事前放流をすることにより、ダムの洪水調節容量が増え、大雨に備えることができます。



## 大雨がなかったとき

予想した大雨が降らなかった場合でも一定の水量を流しながら、ダムの水位をもとの高さに戻します。



一定水量放流のイメージ  
(余地ダム放流管)



長野県佐久建設事務所

0267-82-3101 (代表)

しあわせ信州